

資料1

水産業の明日を拓くスマート水産業研究会 協議テーマについて

令和元年9月 第2回 研究会

2019年度流通・加工WTの協議テーマ（案）

流通・加工
ワーキング
チーム

- 「水産バリューチェーン産地」の構築に向けて、
- ① 洋上（漁船）と陸上（産地市場）をどう繋ぐのか（ITインフラ、通信料等の課題をどう解決するか）
 - ② 流通・加工の現場の省人・省力などの合理化をどのように進めるのか
 - ③ 輸出拡大を視野に品質面・コスト面で競争力のある水産流通プラットフォームをIT・IoTを活用してどう構築するか
- という視点から、我が国漁業・加工等の経営資源や経営の脆弱性にも配慮しつつ議論。

第2回研究会までに実施・報告（第1回WT協議テーマ）

- 流通・加工分野におけるスマート化の現状について
 - －作業の自動化による生産性向上の取組について現状を確認
 - －情報伝達の効率化・正確化による付加価値の向上の取組について現状を確認

第3回研究会までに実施・報告（第2回WT協議テーマ）

- 生鮮食料品流通における新たな情報通信技術等の活用可能性調査の結果等について確認
- スマートフードチェーンの検討状況について確認
- 「電子取引の標準コード」の現状について確認
- ※ 競争力のある水産流通プラットフォームをIT技術等を活用してどのように構築するか議論

第4回研究会までに議論・検討し、報告（第3回WT以降協議テーマ）

- 流通・加工の省人・省力化技術の導入事例と普及過程を確認し、今後の展開方向を議論
- 洋上から陸上への情報伝達技術の現状と課題について確認し、今後の展開方向を議論
- 競争力のある水産流通プラットフォームの構築方策について検討
- 「水産バリューチェーン産地」の構築に向けて検討し、検討結果を報告

2019年度 漁業・養殖業/連携基盤WTの改訂協議テーマ（案）

<p>漁業・養殖業 ワーキング チーム</p>	<p>第3回研究会までに結果報告</p> <ul style="list-style-type: none">○ スマート漁業・養殖業を展開していく上で必要となるデータ・システムの分析・検討（現状と今後のスマート化推進に向けた検討課題・新規データ取得の開拓分野の提示）○ 漁業・養殖業業者が上記データ・システムを利用あるいは基盤に提供する場合の問題点と対策の検討○ 漁業・養殖業スマート技術の開発者（既存会社・ベンチャー企業・大学）と水産関係者の横展開推進策の検討○ 養殖業スマート化を促進するための課題及び施策に関する提言 <p>第4回研究会までに結果報告</p> <ul style="list-style-type: none">○ 中間とりまとめ案に関する意見を踏まえて最終とりまとめ（案）の検討
<p>連携基盤 ワーキング チーム</p>	<p>第3回研究会までに結果報告</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「水産業データ連携基盤」構築に向けて、優先的にどのようなデータの提供を準備しておくべきか。○ 「水産業データ連携基盤」構築の際に、どのようなケースでデータ連携のテストを実施しておくべきか。○ 令和2年度に「水産業データ連携基盤」を稼働する際のデータ利用規約や運用主体について <p>第4回研究会までに結果報告</p> <ul style="list-style-type: none">○ 中間とりまとめ案に関する意見を踏まえて、最終とりまとめ（案）の検討